



2007-08



国際ロータリーのテーマ「ロータリーは分かちあいの心」 会長/ウィルフリッド・J・ウィルキンソン(カナダ)
 2620地区のテーマ「情熱と行動」 ガバナー/道部 乗(沼津北RC)
 パワー浜松ロータリーのテーマ「見える組織、溢れるパワー、溢れる奉仕」 会長/原田道子

週報

第234回例会 11月13日(火)PM19:00 ~ 20:00 オークホテル30F比 ーパ ールの間
 司会:大岡敏孝 点鐘:原田道子 ロータリーソング:奉仕の理想

会長挨拶

先週例会の後、横浜ロータリークラブにメイクアップに行ってきました80年という歴史のあるロータリークラブには圧倒されるものがありました。人数も180名ということで先日の合同例会と同じくらいの人数でした。テーブルにはお花が飾られ、フランス料理のフルコースです。2か月に一回座る場所が変わりお互いの名刺交換をし、テーブルコーディネーターの音頭で2か月に1回テーブルミーティングと称し外で食事会、飲み会をやるそうです。そして2か月間は同じ人がテーブルに座りますので2か月分の出席確認をその場でとるようです。しっかりした管理がされていました。5人組ではうまくいかなかったのですが、いいことはやはり盗もうと感じました。

幹事報告

ガバナー事務所より2007年規定審議会で出席及び出席の記録について標準クラブ定款が改正されました
 理事会承認の条件と事態に従った欠席の場合において理事会は、正当かつ十分な理由による会員の欠席を認める権限を持つ。
 ロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上で、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を書面をもってクラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合
 会員が現役のRI役員である場合、その会員に対する出席規定の適用は免除されるものとする。出席の記録としては、出席規定の適用を免除された会員は本クラブの出席率の算出に使うが会員数に含まれない
 実施月は、12月分の出席報告からとなります。

委員会報告

新世代委員会/知久委員長:
 11/11 五十嵐さんの所からアディソン君が鈴木孝尚さんの所へ引越しました。2月初旬までになります。五十嵐さんは英語が堪能だったのでアディソン君の日本語があまり上達しませんでした。鈴木さんの所なら上達が早いのでは



30F比 ーパ ールの間での例会

社会奉仕委員会/竹林委員長:
 11/3,4の2日間 静岡文化芸術大学で認知症サポーター養成講座を開きました。201名の方が参加いただき盛況でした。特に40代~60代の方に関心が高いようでした。同じ日に地区大会もあったのですが、テレビなどで地区大会より目立ってしまい、しかりました。

連絡事項

ゴルフ同好会/坂倉さん:12/1第18回青空例会の参加をお待ちしています。
 親睦委員会/奥山委員長:12/15のクリスマス例会の家族でのたくさんの参加をお願いします。

出席報告

97名中61名62.89%
 前々回修正出席率72.16%

スマイル報告

鈴木和行:父の葬儀のお礼。小嘶
 青山素久:初めてのスマイル!ボー
 ジョレーヌーポオーの解禁日があと2日後。ワイン好きな方は、ご一報を
 坂倉茂:11/9に母が95歳の天寿を全う。親孝行をと思いつつ出来なかった分を妻の両親を大切に
 ゴルフ同好会:11/11第103回浜松8RC親善ゴルフ大会が葛城GCで開催、団体戦4位

ハッピーバースデー

長谷川博久; 11月20日
 杉山雄一郎; 8月23日




POWER

POWER HAMAMATSU
 ROTARY CLUB
 JAPAN

国際ロータリー第2620地区・静岡第7分区分
 パワー浜松ロータリークラブ



2007-08



国際ロータリーのテーマ「ロータリーは分かちあいの心」 会長/ウィルフリッド・J・ウィルキンソン(カナダ)
 2620地区のテーマ「情熱と行動」 ガバナー/道部 秉(沼津北RC)
 パワー浜松ロータリーのテーマ「見える組織、溢れるパワー、溢れる奉仕」 会長/原田道子

議事 卓話

芦田 露子様

「認知症サポーター支援活動のレポート優しい社会を目指して」

奥山 恵理子さん

11月3日、4日の2日間、講師として浜松医科大学の宮島教授をお招きして静岡文化芸術大学にて認知症サポーター養成講座を開催しました。日本は長寿社会になりました。医学で、体の健康は維持できますが、心の部分のケアは出来ていないのが現状です。これは家族関係の希薄、ひいては人間関係の希薄さに要因があります。これが認知症の問題に起因します。では、自分達に何が出来るか。そこから認知症サポーター100万人キャラバンのキャンペーンが始まりました。パワー浜松では去年の10月に5周年の記念事業として認知症サポーター養成講座を行い、1004名の参加をいただき県内に大きな影響を与えました。市役所の中にキャラバンメイト連絡協議会が出来、浜北RCと静岡在宅ケア学会が共催で講座が開かれます。パワー浜松でも、サポーター基金を設立し一過性のものではなく継続的な活動を行っています。また、県の方でも活動の活発でない中部、東部にもRCに対し働きかけを始めています。これからもキャラバンメイトと共に頑張っていきます。ご支援をお願いいたします。

芦田 露子様

サポーターは小さなことから何が出来るんだろうから始まります。先日、歌手の佐伯 一郎先生の東京公演に認知症などの障害のある方を4名、お連れしたときのことで、どういう形でお連れしたかという、まず、男性職員と2人で同行しました。それはトイレなどに連れて行くときの事を考えてです。次に私は真っ赤な服を着ていきました。4名の方にすぐ見つけられるようにとの配慮です。4名には1週間前からこの日のことを伝えていきました。すぐ忘れられてしまいますが根気よくお話ししてそれなりに理解してもらえました。おかげで朝五時半に出発し浅草で食事をし買い物をし無事戻ってこれました。これは、さりげなく人間の杖になってサポートしていこうという言葉通りの事をした結果の成功例です。楽しいことを提供し、辛いことは避けるというサポーターの対応法にもマッチしていました。もちろん認知症、高度障害を理解している人が同行したことが大きな要因です。次に皆様に話しておきたいことは、誰もがなる認知症、明日はわが身であること、認知症はなおらない、だから今のうちから家族で話し合ってほしいということです。今、わかることは今準備していくこと、わからなくなってからでは駄目です。早め早めの対策が大切、ギリギリでは理解してもらえません。車椅子の使用しかり、ヘルパー導入しかりです。是非、家族で話し合ってみてください。本日はありがとうございました。

